

【短報】神奈川県箱根で54年ぶりにイッシキキモンカミキリの生息を確認

神奈川県箱根におけるイッシキキモンカミキリ *Glenea (G.) centroguttata* Fairmaire の唯一の記録(1♂, 小田原市緑町, 18. VI. 1958) は, 平野幸彦

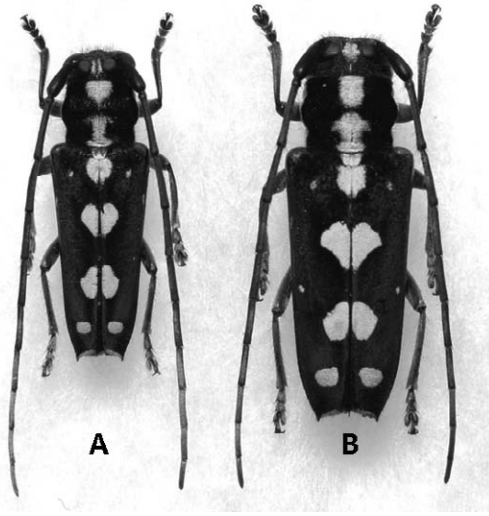


図1. イッシキキモンカミキリ (A: ♂; B♀: 神奈川県箱根白銀山産)。

氏が近所の小学生から譲り受けた個体をもとにした報告であった(平野, 1958, 2004; 山上, 1978 a, b). 当時, 本種の分布状況が西日本地域を中心にすると考えられていたことから, 「偶産」として扱われ, その後長らく記録もなかった. しかし東京都奥多摩で生息が確認され(岸田, 1980), 1991年には同地域で多産することが知られるようになった. これにより, 関東地域にも確実に生息することが明らかになった. さらに2000年代になって神奈川県北東部からも記録されるに至ったが(露木, 2005; 荻部, 2006), 箱根地域からは再確認されていなかった. これらの経緯については, 「カミキリ屋の盲点」として山口ら(2007)により美しい生態写真とともに報告されている. 今回, 筆者らは54年ぶりに箱根地域で下記のように生息を再確認することが出来たので分布資料として記録し, 近隣地域の分布状況とその後食痕についても若干の知見を報告しておきたい.

[確認記録] 4♂, 1♀, (図1A, B), 神奈川県箱根町白銀山(標高550m付近), 7. VIII. 2012.

今回の記録地から最も近い西部方面での記録または確認地は, 富士川を越えた静岡県浜松市水窪

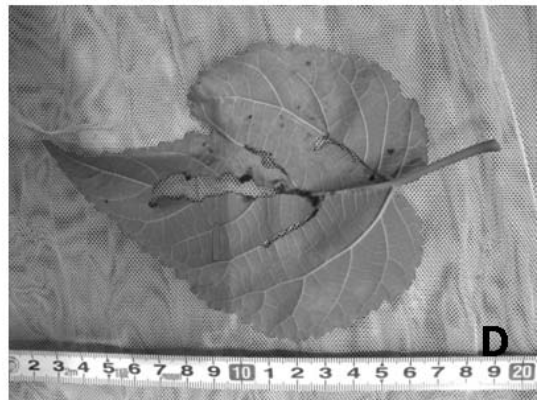


図2. イッシキキモンカミキリ (A~C) とキボシカミキリ (D) のクワ属の1種 *Morus* sp. に対する後食痕. A, B, 全景; C, D; 拡大.

町(池永, 2009)と, その手前の山梨県身延町(未発表?)であり, 現状においてその間は確実な分布記録の空白地帯となっている。

神奈川県から東に越える分布域を示す昆虫類については, 樹相や地形などの環境から県北部を経由することが推測されているようでもあるが, 県南部は調査不足な地域でもあり, 今後も新たな発見があるものと考えている。また, その要因の断定は難しいが, 近年話題になっている分布を拡大している昆虫としての視点からも注目を要すると考える。

参考までに, 同地で確認したクワ属の1種 *Morus* sp. に対する後食痕について, 同時に観察されるキボシカミキリ *Psacotheta hilaris hilaris* (Pascoe) のそれとの比較を示す。本種の後食痕は, 葉裏の葉脈に沿った齧り始めから齧り終わりまでの痕跡が細いものに対し(図 2A-C), キボシカミキリでは齧り始めは細いが, 齧り終わりでは不規則に広がる(図 2D)。また両種ともに齧り始めにおいては葉液の流出を調整すると考えられる特徴的な噛み跡を残す。さらに, その断面を観察すると両種の大顎の大きさと形状に対応して, 本種では切断的になめらかであることに対し, キボシカミキリでは鋸引状に粗いことから, その識別は容易である。

末筆ではあるが, 小田原市の平野幸彦氏には小田原市での記録の詳細について, 逗子市の露木繁雄氏には県内の分布状況などについて, また静岡県内の杉本(出口)可能氏と坪井俊久氏には静岡県内の分布状況について, それぞれ適切なご教示をしていただいた。さらに後食植物については, 山形県の永幡嘉之氏, 東京都の宮川崇氏, 高知県立牧野植物園の田中伸幸博士にご教示をしていただいた。記して各氏に厚くお礼申し上げる。

引用文献

- 平野幸彦, 1958. 小田原カミキリムシ科目録. 神奈川県報, (14): 1-6.
 平野幸彦, 2004. コウチュウ目. 神奈川県昆虫談話会編, 神奈川県昆虫誌, pp. 335-835.
 池永和優, 2009. 静岡県でイッシキキモンカミキリを採集. 月刊むし, (466): 21.
 菊部治紀, 2006. 相模湖町, 藤野町でイッシキキモンカミキリを採集. 神奈川県報, (156): 41.
 岸田泰則, 1980. イッシキキモンカミキリを東京都奥多摩で採る. 月刊むし, (118): 28.
 露木繁雄, 2005. イッシキキモンカミキリについて神奈川県で再発見. 神奈川県報, (151): 42.
 山上 明, 1978a. 箱根のカミキリ(上). 月刊むし, (88): 11-16.
 山上 明, 1978b. 箱根のカミキリ(下). 月刊むし, (89):

11-20.

山口 茂・藤田 宏, 2007. 東京都奥多摩のイッシキキモンカミキリ—カミキリ屋の盲点— Shigeru Yamaguchi Photo Essay. 月刊むし, (440): 2-7.

(加賀玲子 254-0821 平塚市黒部丘 28-46)

(日下部良康 224-0013 横浜市都筑区すみれが丘 21-12)

【短報】神奈川県西丹沢地域三国山のセダカコブヤハズカミキリについて

神奈川県山北町, 静岡県小山町, 山梨県山中湖町の境に位置する三国山(標高 1,328 m)付近においてセダカコブヤハズカミキリ(イワキセダカコブヤハズ) *Parechthistatus gibber shibatai* Miyake, 1980 の生息を確認した。同地における記録はすでに報告されているが(平井, 2002; 平野, 2004; 露木ほか, 1997), コブヤハズカミキリ類の情報が少ない地域でもあることから, その形態的な特徴について写真を添えて報告しておきたい。また, 同地では 1,200 m 付近においてフジコブヤハズカミキリ *Mesechthistatus fujisanus* Hayashi, 1957 も記録されているが(平井, 1989), 今回の調査では確認するに至らなかった。

調査はピーティング法(秋季)と立枯木や倒木からの見つけ採り(初夏)により行い, 調査範囲は明神峠から三国山, 大洞山を経て籠坂峠へ至るルートで行った。調査年月日は下記に示した確認データのとおりで, 計 5 回の調査を行った。調査地の環境は尾根筋の登山ルートに対して南側斜面(静岡県側)は乾燥し, 山中湖につながる北西斜面(神奈川県, 山梨県側)では部分的に湿度が保たれる場所が点在する環境であった。

[確認データ: 加賀採集(RK); 日下部採集(YK)]

1♂(図 1C, C':RK), 山梨県山中湖町三国山(1,300 m 付近), 2. X. 2010. 2♂(図 1B, B', F, F':YK), 同地, 11. X. 2010. 3♂, 2♀(図 1G, G', I, I', K, K':RK; D, D', H, H':YK), 同地, 8. X. 2011. 1♂, 1♀(図 1J, J':RK; E, E':YK), 同地北西斜面(1,000 m 付近), 17. X. 2011. 1♂, 1♀(図 1A, A', L, L':YK), 神奈川県山北町三国峠(1,300 m 付近), 14. VI. 2012.

今回確認できた 8♂, 4♀を図 1 に示した。体長(前頭~鞘翅端部)はオス個体で最大 16.3 mm, 最少 10.5 mm, メス個体で最大 16.5 mm, 最少 12.5 mm であった。ほぼ同体長のオス個体を比較したところ触角の長さ, 太さに安定性を欠く傾向が認められた(図 1A, A', B, B', C, C')また, 小楯板の両側のコブ状顆粒が著しく発達する個体(図 1B, B')から, 隆起はしても, コブ状顆粒をほとんど有さない個体(図 1E, E', H, H')まで認められた。今後, 隣